



理事長就任のご挨拶

理事長 眞保 智子

こんにちは。皆様お元気でいらっしゃいますでしょうか。このたび社会福祉法人プライムの理事長に就任いたしました眞保智子（しんぼさとこ）です。どうぞよろしくお願いいたします。わたしが社会福祉法人プライムに最初にお世話になりましたのは、2001（平成13）年のことです。今からちょうど20年前になります。当時はまだ社会福祉法人ではなく、ご家族や志ある支援者、職員の方々が尽力され、精神障害のある地域の方の活動の場、居場所「ポプラ作業所」として営まれていました。職場である大学から近くご縁をいただき時間をみつけてはお邪魔するようになりました。

就職のために高崎で一人暮らしを始めた当時のわたしは、仕事場はありましたが、地域に知人もなく、居場所もありませんでした。そんなわたしを、職員のみなさんと利用者のみなさんは、いつも暖かく迎えてくださり、お茶やお菓子をふるまってくださいました。たわいもない世間話をしたり、一緒にホッチキスの針を箱詰めしたりする時間はかけがえのないものでした。あの頃わたしを支えてくださったみなさんのお役に立ちたい、ご恩をお返しさせていただきたい、そのような気持ちを大切にしながら力不足ではございますが、皆様に教えていただきながら役割を果たしていきたいと思っております。何卒ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2020年、21年は、新型コロナウイルス感染拡大による社会の混乱で、世界中のどなたにとっても辛く苦しいことの多い日々であったと記憶されることでしょうか。2021年は、社会福祉法人プライムにとって、法人を今日の姿に導いてくださいました小山眞前理事長のご逝去という悲報に接することとなりました。この「NEWSプライム」のバックナンバーからも小山前理事長の優しい暖かいお人柄が偲ばれます。小山前理事長は、最後のご執筆となった2020（令和2）年の「NEWSプライム」に、2020（令和2）年の法人の目標として、グループホームの新設と地域活動支援センターアロマの就労継続支援B型事業への移行を掲げられています。有難いことに、小山前理事長と職員の皆様をはじめ関係各位のご尽力により地域活動支援センターアロマの就労継続支援B型事業への移行は、おかげ様で2020（令和2）年度に実現することができませんでした。あらためまして小山前理事長と皆様に感謝の気持ちと御礼を申し上げます。

2021（令和3）年度は、小山前理事長のご遺志でありますグループホームの新設ができますように、準備を進め、これからもご利用される皆様の生活の質の向上と地域社会の中でつながりながらともに暮らす基盤づくりを目指して皆様と一緒に活動していきたいと思っております。引き続きご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

目次

●ルオーゴ開所	2
●施設あれこれ	3~5
●Happy Day	5~7
●職員紹介	7~8
●就職情報	
・ありがとうメッセージ	9
	他

障害福祉サービス事業所

ルオーゴ

山本さんからアロマを就労継続支援 B 型に移行することを考えているというお話を聞いたのはちょうど2年程前だったかと思います。移行を機に事業所の名前を変更するというので、たくさんの候補の中から、名前の意味、どんな願いを込めるか、電話に出た際、言いやすいかななどを考え、決めた名前が「ルオーゴ」イタリア語で居場所という意味です。利用者さん、職員にとって居やすい居場所のような存在になれたらいいなと想いを込めて決めました。世界中がコロナ、コロナと段々と騒ぎが大きくなりつつある中、令和2年4月1日みなさんのお陰で、無事に開所することができました。開所してからは契約、アセスメント・・・と利用者さんと関わり、お話をしていく中で、だんだんと距離が縮まってきたかな・・・とっていた矢先に、コロナウィルス感染拡大防止の為、その年の4月20日からプライムの全事業所で在宅支援をすることになりました。在宅支援は職員にとっても初めての経験だったので、離れていながらどのような支援ができるのか、どうすればコロナウィルスに対する不安を少しでも取り除いてあげられるか、毎日みなさんと電話で話しながら考えていました。在宅支援を終えたあとは、6月から群馬用水管理事務所の子持操作所の定期清掃の施設外就労が始まりました。年に6回の清掃作業ですが、往復2時間の道のりは小旅行気分です。亀里太陽光発電所の除草作業にも参加しました。令和3年4月からは高崎市美術館の清掃も始まりました。地域活動支援センターの時はなかった施設外での清掃や除草作業、利用者さんはどんな反応だろう？興味を持ってくれるかな、参加してくれるかなと少し心配な気持ちもありましたが、みなさん積極的に参加してくださり、とても助かっています。毎日、朝の館内清掃で練習しているので、みなさん清掃が上手になってきました。内職作業も変化があり、長い間請け負っていた作業を終わりにして、新しくメクボールの作業をいただくことにしました。メクボールの作業はみんなで分担して、誰でもどの仕事でもできるところが良いところで、こういった作業が増えていくと良いなあと感じています。何年前のNEWS プライムにも書きましたが、山本五十六の『やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ。』という言葉を念頭におき、利用者さんのいろいろな可能性を広げていけるような支援ができたらいいなと思います。そしてその言葉には続きがあり、『話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人を育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。』という言葉は私がこれから管理者として成長していく為にも大切にしたい言葉だと感じました。毎日仕事に追われてあっという間に令和2年度が過ぎてしまいましたが、みなさんにとってはどんな1年でしたか？ 地域活動支援センターの頃とは違い、いろいろな難しい手続きや書類もあり、利用のシステムも変わり、職員も変わり、戸惑いが多い1

年だったと思いますが、新しい環境を受け入れてくれてことに感謝しています。私は4月に娘の小学校入学(2カ月休校)、育児短時間勤務の期間が終了し、6年ぶりのフルタイムの勤務が始まり、自分自身の生活も大きく変化しましたが、家族にも協力してもらい、良い環境で働くことができ感謝しています。そして、一緒に働いている職員さん、至らない管理者ですが、いつも支えてくださり、本当にありがとうございます。

昨年度はコロナの影響でハッピーデー以外の行事は行えませんでした。みんなと旅行に行くならどこに行こうかな、カラオケに行って



みんなの歌を聞いてみたいな・・・と、いつか安心して、行事ができることを楽しみに毎日のお仕事に励みます。これからもよろしくお願いします。

コロナ禍のすまいる京目

すまいる京目 生活支援員 我妻 彩

令和2年度、前代未聞の大変な一年となりました。コロナ禍の最中のすまいる京目について振り返ってみようと思います。日本中がコロナ対策を実施すると同時にすまいるも数々の対策を行ってきました。

マスクの着用は通所する上で絶対条件です。マスクの品薄もあり、利用者の方々や我々職員の不安を募らせました。事業所でなるべく安いところを探し、購入し底値で販売したり、無料でいただいた不良マスク(まだまだ使えるものです)を配布したり…中には自身で工夫して自作のマスクを着用する方もいました。健康管理として、毎日検温し記入。初めのうちは検温の習慣がなく定着しませんでした。後半になると当たり前の日課になっていきました。食堂と作業室の机の配置を工夫し、密にならないように椅子の間隔をあげ、一方向を向いて着席。作業室を覗くとまるで教室に着席している生徒さんのようで慣れるまでに時間がかかりました。以前のような相向かいに座りお話ししながら和気あいあいと作業する雰囲気はありません。しかし、1人1人が作業に集中できるため、自然と作業効率は上がっていきました。初めは異様な光景でしたが、今となってはそれが「普通」の光景となっていきました。5月には 緊急事態宣言が発令され、すまいるもそれに伴い在宅支援への移行に踏み切りました。利用者の方々が戸惑うことなく移行できるように、一番戸惑ったのは私を含め職員の方々だったのではないかと思います。初めての試みで、どのような反応があるのか不安でした。通所時の、毎日朝夕の電話による体調確認。在宅でのワークシート。週一回の通所支援。時には自宅訪問をし、職員が作ったサンドイッチを昼食に提供しました。私は利用者の方の電話連絡を担当しましたので、不思議と利用者さんを近くに感じられ、自宅でもいつも通り穏やかに過ごされている様子を伺えたので不安は緩和されていきました。その後、密にならないように通所時間を調整し、段階的に通所をしていただき、通常開所といった運びとなりました。その後もコロナ対策を徹底し、コロナ対策が根付いたすまいる京目は、新しい利用者の方も増え、通所人数も増え、穏やかな日々を過ごせるということに感謝です。

まだまだ収まらないコロナです。令和3年度がどんな年になるのか私には分かりませんが、利用者の方の生活を第一に考え、安心してすまいるに通所できるように最善を尽くしたいと考えております。

一つ、行事を楽しみにされていた方々にはつまらない一年だったのではないかと思います。コロナが終息し、行事を心から楽しめる日が早く来ますように…



提供したサンドウィッチ

開所から二年余りが過ぎ日々利用者さんの生活の事を職員で話し合いますがなかなか一筋縄ではいかない面々。一年二年と長い日数をかけ、少しずつ出来る事が増える様に手伝い、助言をしています。そんな中、コロナウィルスのニュースが毎日放送され憶測が飛び交い、利用者さんの不安が増して行き私もメディアからの情報しかなく「大丈夫」「慌てない」の繰り返し。そんな日が続いていた朝、利用者さんの一人が37℃台の発熱。他の利用者さんとテーブルを分けて野崎氏に連絡。自覚症状が

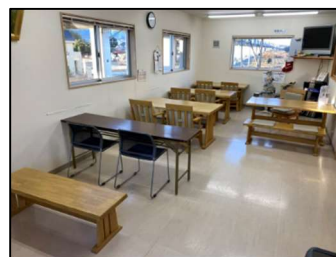


ある日の夕食

無かったので、確信が持てず、2週間を部屋で過ごしてもらい、毎日の検温、配食。熱は上下し対策も無し。その後受診が出来、細菌感染ではとの診断。薬が効き作業所へ行けるようになりました。

前代未聞のウィルス、グループホームで何が出来るか話し合い、検温、消毒、換気、加湿、マスク、手洗いの繰り返し。私は、利用者さんと直接会うのは朝食時の20~30分だけなので、独り々の顔と声を観察し、違和感があれば声をかけ、確認しています。悩み多い仕事で眠れない日も増えていますが、入職して九月で三年になり、11月にはグループホームで四年目も向えられる様にとっています。

昨年を振り返ると、なんとといっても「新型コロナウイルス」による日常の変化ではないでしょうか。感染拡大防止対策に検温の徹底、三密（密閉、密集、密接）の回避。そして、換気。さーくるは広さがないので、どうしたら密集、密接を避け、作業や食事をする事が出来るか、今の形になるまで、試行錯誤しました。特に、向かい合わせでの食事での感染率が高いということなので、向かい合わせにならないようにしなければいけないのですが、そうすると座席が足りなくなってしまう。そこで、ベンチイスをテーブル代わりにしたり、長机を補充したり工夫して座席数を確保しました。利用者さんにも不便をかけていますが、皆さんの協力のおかげもあり、現在、感染者はでていません。しかし、まだまだ、終息は見えません。油断できない状況です。引き続き気を引き締めて感染対策に努めていきたいと思えます。新型コロナウイルスによって、イベントが、中止になったり、今まで出来ていたことが出来なくなって我慢の日々が続いています。これからも、前向きに取り組んでいけたらと思います。



配置換えした休憩室

相談支援事業所シンシアがグループホームカサ・セレソの2階に移転して2年余りが過ぎました。この間引越したと思っていたのにまさに光陰矢の如しで、時間に置いて行かれているような気持ちです。市の委託相談支援事業所になってからは依頼件数もずいぶん増えました。今年は年明けから新型コロナウイルスが流行し、収束どころか今なお感染者は増えていますが、そんな中でも新規の依頼があることはとてもよいことだと思います。

ソーシャルディスタンスや巣ごもり、新しい生活様式などの言葉が生まれ、自粛ムードで制限されることも多い中、環境を変えるのはとても勇気のいることでしょう。その状況の中で一步を踏み出したことを嬉しく思います。それは今を変えよう、良くしようという表れだからです。どんなに頭の中であれこれ考えても、実際に動かなければ何も変わりません。私達はお手伝いはできるけれど、行動に移すのは自分自身です。わからないことは不安だし、考え始めたらきりがありません。けれど、まだ来ない先のことを憂いてばかりいて身動きが取れなくなっていたとしたら、大事な「今」がおろそかになってしまいます。踏み出した一步は必ず次の一步につながります。そして広がっていきます。勇気を出してよかったと思えるような支援ができるように、これからも務めていきたいと思っています。

施設外就労「メガソーラーの除草作業」

すまいる京目 生活支援員 塚越 幹雄

私の属する「就労継続支援B型事業所」では、毎日利用者さんと作業を行っています。それで得た収益は全て利用者さんの工賃となります。利用者さんの工賃を少しでも上げるためにいろいろな作業をしています。その一つに「メガソーラー（太陽光発電所）の除草作業」があります。数年前から行っております。年に3回ほど除草作業を行います。以前は全て手作業で除草をしていました。メガソーラーが設置されている場所を想像してください

い……。とても広いですね。その広い太陽光発電所を、なんとぜ〜んぶ手作業で草刈りをしていたのです！利用者さんと職員が一丸となって作業をしました。間に合わない時は職員が暗くなるまで作業をしました。あまりに遅くまで作業をするので請負先から作業の終了時間を制限されるほどでした。でも、昨年からは作業の内容が変わりました。刈払い機を使って良いことになったのです！太陽光パネルの下は刈払い機では刈れませんので、今まで通り利用者さんと職員の手作業となりますが、パネル下以外は防護ネットを使って飛び石を防ぎながら刈払い機での草

刈りとなりました。おかげで作業効率が格段とアップし、作業者の負担もかなり軽減されたと思います。仕事をして務めると言う事は、毎日決められた時間に出勤し決められた期間まで作業をすることが基本だと思います。「就労継続支援」とは毎日続けて仕事ができるように支援をすることだと私は思います。仕事にはいろいろな作業があります。利用者さんが自分に合った仕事、自分ができる仕事を見つけられるようにする為にも、いろいろな作業にチャレンジして行きたいと思っています！ 体力の続く限り……

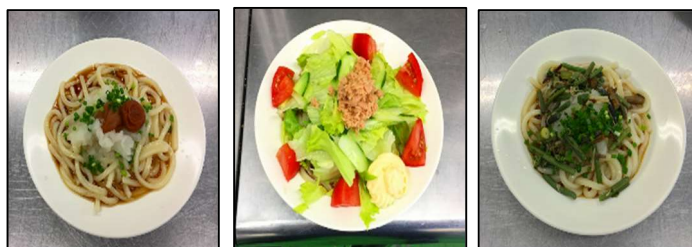


昨年度のイベントは新型コロナウイルスの影響で至る所で縮小・中止と続き、毎年イベントを楽しみにしている方々はたくさん我慢をしました。

プライム HappyDay のイベントは感染予防を行えば危険はないと判断し、7月23日（2020オリンピック開会式が行われる予定でしたね…）食事会が開催されました。梅雨はあけてなく蒸し暑い日でしたが、ソーシャルディスタンス・換気・配膳等周知している予防対策を行い、昼食をいただきました。

冷たいうどんは厨房で手作りし、うどんは「サラダ」「梅おろし」「山菜」3種類の中から選び、焼きおにぎりと漬物が付きました。一番人気はサラダうどんでした、私が食べた梅おろしは大根おろしがたっぷりとてもさっぱりしていて、とろとろの大粒梅が美味しかったです。

冷たいデザートに、「スノーパウダー」ミルクベースの氷にわらびもちと抹茶アイスをのせました。スノーパウダー作りは湿度の高さで溶けるのが早く苦戦しましたが配合を調整して、あんこを乗せると沈んでしまうので氷の下に入れる工夫を行いました。みなさん「美味しかった、ごちそうさま」と言ってくれて嬉しかったです。



気持ち良い秋晴れの下、すまいる京目の駐車場でバーベキューを行いました。みんなでワイワイ集まって、好きなものを焼きながら盛り上がりたいたころですが、コロナ禍のためシェフになった職員が腕を振るい、焼き上がった料理を着席している皆さんにお運びする形式でした。今回はちょっと奮発して用意した食材がすごい!! 骨付きラムチョップ・黒毛和牛・カルビに豚トロ・ブランド銘柄のお肉が盛りだくさん。海鮮市場で仕入れたお魚たち・手作り焼きおにぎりまでいただいてお腹も心も大満足でした。

最近みんなで一緒に集まることが出来ない状況です。お昼のお弁当も相向かいでは食べる事が出来ませんので何となくさみしい感じがしていました。しかしこの日のバーベキューは久しぶりにすまいるの皆さんの顔を見ながら楽しく食事をする事ができました。

仲間が集まるといつもの食事が10倍おいしくなる! またそれが何よりのスパイスだという事を実感した HappyDay でした。



令和2年は、コロナ禍で遠くに出掛けることができず、残念でしたが、その中でも安全に楽しめることをしようと、7月のハッピーデーは、カレーライス・温野菜づくり、麻雀、トランプ、アイロンビーズ、たこ焼きづくりをやりました。カレーライスとたこ焼きは以前、みんなで話し合った時にやってみたいという意見があり、今回実現しました。初めに全員で、体温と体調確認、手洗い、マスクをして調理班は、野菜切りからスタート。上手に切れる方、危なっかしい方いろいろでしたが、自分で好きなものを作って食べられるようになってほしいと、できるだけ包丁に慣れていない方に頑張ってもらいました。大胆な包丁さばきに冷や汗をかきながらも、おいしいカレーライスと温野菜ができました。食堂と台所が一段落してから、たこ焼き器2台を駆使して、セレゾの職員にもお手伝いいただき、たこ焼き180個、ホットケーキミックス焼き72個、焼き上げました。職員がたこ焼きを焼いている間、手の空いた調理班の利用者さんは休んだり、ゲームをしたり、アイロンビーズで作品を作りました。一方、麻雀班は、作業室で朝からほぼ休むことなく戦いをくりひろげ、昼食でいったん中断。麻雀班が食後の片づけを担当し、午後もまた熱戦を続けました。たこ焼きは昼食後、おなかがいっぱいになっていたにもかかわらず、あまりのおいしさに別腹で食べてしまいました。普段は作業に追われる毎日ですが、こうして1日遊ぶと、みんなの顔が朗らかになります。来年のハッピーデーも、楽しいことを、たくさんやりましょう！



令和2年11月3日、HappyDayとしてバーベキューを実施しました。当日は天気にも恵まれ、朝の時点で風が出そうだったため、コンロの設置場所等を変更しましたが、ほぼ計画どおり行うことができました。参加者は、利用者の方が12名、職員が8名、合計20名です。以前は、銘々で焼けたものを取って食べていましたが、今年は職員が焼いた食材を紙皿に取り分け、それを食べてもらうという形になりました。内容は、ラムチョップ、牛ステーキ肉、牛カルビ、牛タン、豚ロース、ベーコン、義経焼、エビ、イカ、数種類の野菜と盛りだくさんです。義経焼は、みそだれの味がついたラム肉を適当な大きさに切ったキャベツと玉ねぎと長ねぎを合わせて焼いたもので、山形県の郷土料理(?)だそうです。「少し甘辛い味がついていて、とてもおいしかったです。「私はラム肉はちょっと…」と遠慮していた人が、他の人にすすめられて少し食べてみたら、「あら、おいしいですね。」と話していました。そしてその後には特製ラーメンもいただき、用意していたおにぎりを食べられなかった人もいておなかがいっぱいになり、大満足でした。



12時頃にはほぼ食べ終わり、その後それぞれゲーム等で遊びました。オセロや黒ひげ危機一発、ぐらぐらゲーム、アンバランス M2（ジェンガみたいなもの）など。比較的、簡単にできるゲームですが、なかなか白熱していて楽しそうでした。何回も黒ひげさんを飛ばしてしまう人、そこを取ったら崩れるんじゃないかと思える所のパーツを取ろうとする人、普段では見られない一面を見ることもできて、こんなふうに時間を過ごすこともたまには良いことだなと思いました。

昨年入職された職員からの紹介文です。よろしくお願いします。

入職にあたって・・・

ルオーゴ 職業指導員 茂田 笑子

令和2年4月からルオーゴでお世話になって1年3ヶ月がたちました。3月で定年退職するまでは重症心身障がい児(者)の入所施設で生活支援の仕事をしていました。定年後は自立支援のお手伝いをさせて頂きたいと考え、体力・気力は「まだまだいける！」と思ってお世話になったのですが…。

よろしくお祈りします



利用者さんのこと、作業のこと、錆びついた脳みそに「喝！」を入れる毎日が続いています。

「歳に不足はないのに・・・」とため息の出ることもしばしばですが職員や利用者の皆さんにはあたたかく見守って頂きとてもありがたく思っています。この思いを今度は周りの皆さんへの支援につなげてお返ししていこうと肝に銘じています。「ルオーゴ」の名のとおり利用者さんが通ってきたくするようなホッとする居場所を提供できるよう励みたいと思います。新型コロナウイルス対策で様々な活動が制限されてストレスを抱えている方も多いと聞きます。大変な状況ではありますが出来ないことを嘆くよりできる範囲で小さな幸せを見つけて、利用者さんとともに明るく楽しい毎日を過ごすことを心がけたいと思っています。

はじめまして、金井と申します。

さーくる 生活支援員 金井 大介

令和2年4月よりプライムの一員となりまして、早いもので1年以上が過ぎました。コロナの影響もあり、まだお会いできていない方や、ちゃんとお話しもできていない方も多いため、この紙面をお借りして簡単に自己紹介をさせていただきたいと思います。私は、人が好き、人と話すのが好き、人の話を聞くのが好き。笑顔が好き、笑うのが好き、笑わせるのが好き、笑われるのも好き。ひとりの時間も好き。コーヒーが好き、タバコが好き。です。こんな僕なので、この1年ちょっとの間でたくさんの人と出会って、毎日、直接お会いして、お話できることが、楽しくて仕方ありません。（もちろん疲れたり、イライラしたりもしますが…）そして日々「今日の自分に出来る事を懸命にやろう。」と過ごしているうちに、あっという間に師走を迎えてしまいました。仕事では、解らないことや、出来ない事も多く、迷惑を掛けてばかりですが、以前より甘えることが上手になった（すまいるの皆様ありがとう！）自分は、なんとか乗り越えられているのかな？と思っています。頭の中では、恩師や先輩方の言葉（51%相手のために。あわてず、あせらず、あきらめ



ず。人は良くなる為に生きている、良くなりなさい。etc) が駆け巡り、ラジオからは内藤（中高の同級生で仲良くさせて頂いた）の元気な声が聞こえてきます。「負けてらんねえな」と心の中でつぶやきながら、今日も元気に働いています。今まで出会ったすべての方に感謝です。ありがとう。

プライムに入職して

すまいる柴崎 生活支援員 竹内 奈未

令和2年4月から社会福祉法人プライムにお世話になっております。新型コロナウイルスの影響で皆さんと集まる機会が少ないため、私の顔も知らない方がほとんどだと思います。ここに顔写真を載せることはできませんが、少しでも自己紹介をさせていただきます。



名前：竹内 奈未 住所：玉村町 血液型：O 生年月日：9月6日（歳はご想像におまかせします） 家族構成：夫、子4人（女女男女） 好きなこと：買い物、ウォーキング、料理
前職：知的障害者施設の支援員

前職の経験は5年ですが、利用者さんの接し方が全く違い最初はとても戸惑ったのを覚えています。現在は「すまいる柴崎」に配属され、日々勉強中です。物事を深く考えないため、それが吉と出たり凶と出たり…。ただ、同じ失敗はしないよう気をつけてます。入職から1年余りが経ち、最近やっと仕事が楽しいと思えるようになってきました。それと同時に失敗することも増え、気を引き締めていかねばと思っています。こんな私ですが、とてもいい雰囲気の中仕事をさせていただき大変感謝しております。組織の一員として末永くお付き合い頂けますよう、よろしくお願いいたします。

宜しくお願いします。

すまいる京目 調理員 三木 公義

初めまして。令和2年10月1日よりすまいる京目の調理の仕事でお世話になっております。三木公義と申します。山本様はじめ皆様には毎日お世話になっております。ありがとうございます。



仕事を始めるまで、障害福祉サービスがどういう事か知りませんでした。職員の方々、入所者の方々が、ほんとうに家庭的な雰囲気の中で毎日を送っている姿にたいへん驚きました。私も一日も早く職場に慣れるよう努めて参ります。簡単ですが自己紹介をさせていただきます。1951年1月生まれ。70歳になります。東京杉並の寿司店から数えて50年余りに寿司の調理に携わってきました。昭和57年高崎市石原町に紀尾井寿司を開店することができました。たくさんのお客様にも恵まれ、35年間という長い間お店を運営することができました。お店を閉店してから3年になりますが、体が健康なうちは頑張ってお働きたいと思っています。これからも宜しくお願いします。

～ぷちあみ7月号に寄稿したものを転載しています～

※ぷちあみは毎月発行されるあみ(全国精神障害者生活支援協議会)のニューズレターです。



別れと出会い

統括施設長 山本 美紀子

2021年3月15日、社会福祉法人プライムの理事長小山眞が85年の人生の幕を閉じました。昨年末、すい臓癌から多臓器への転移が見つかり「私も頑張るけど山本さんも覚悟して、そのつもりでいてね。」と告げられていたものの、1月末にアンパンを食べたいとおっしゃるので病院の受付に書類と偽りこっそりと届けるとすぐに「ペロリと食べたと美味しかった。」と電話の声が元気だったので、まだまだ先のことのように思っていました。

生前小山理事長は、たくさんの役職をもっていました。神主もその一つで、利用者が行方不明になった時や事あるごとに神様にお祈りしてくださっていました。

2月15日「最近、大事ではないが車がぶつかる事故が続いているのです。ご祈祷してもらえますか？」とお願いすると「ぶつかるということは中に衝突があるということ、心当たりはないの？」と聞かれ、心当たりあるので内容を話すと「それぞれが反省して心穏やかに収めること、わかった方がわかってやるということ」と教えをいただきました。

今考えれば、私は曲がりなりにもカトリック信者なので、違う神様に祈祷のお願いするのはおかしいことかもしれませんが、それはさておき、それらの言葉は深く心にしみわたりました。いつも常に悩みや苦しみを穏やかに受け入れ、自分のことより他の人のことを考えた生涯でした。

今も猛暑日の夕方になると、アイスの入った保冷バックを片手に「いつもありがとう、ご苦労様、一人2個ずつ食べても足りると思うよ」とやってくるような気がしてなりません。

小山理事長とは病気になる前から後任の理事長についての話をしていました。経営や経済に長け、「厚生労働省 障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」の構成員等の委員、そしてなにより篤志の心を持っておられる監事の眞保智子氏(法政大学現代福祉学部教授)が、適任ではないか？という考えで一致していました。3月12日、病床の小山理事長に最後の確認をしてから、彼女へ理事長就任のお願いをしました。

彼女には、その頃小山理事長の病状もお知らせしていなかったもので、突然に一方的なお願いで本当にお困りになったと思います。悩まれたとは思いますが快く引き受けていただいたので、令和3年3月24日、眞保理事長が就任しました。

眞保理事長とは、家族会の作業所時代からの付き合いで、かれこれ20年余が過ぎました。苦しい時や困った時に相談にのっていただいていたので、とても心強く安心して仕事ができます。

この2カ月足らずの間に新しい出会いが二つありました。

一つ目は後任の監事の池田朋広氏(高崎健康福祉大学准教授)、彼の考え方は「あみ」の思いに通ずるものがあり、話しているとあっという間に時間が過ぎていきます。批評社のバックナンバー『精神医療 2020.No98』特集漂流する精神看護のコラム「その道を全うするために」には、その気持ちが表れているのでお読みになっていただければと思います。いつか「あみ」の方々にもご紹介したい方です。現在は大学の仕事と並行して太田市の「あいメンタルクリニック」のデイケアで「増川ねてる氏」と協働されており、何だかご縁を感じます。

もう一つの出会いは、評議員になっていただいた宮崎雄一氏です。前橋市でイタリアンレストラン「ペスカ」を経営されています。「ペスカ」はパスタ・サラダ・ピザの食べ放題で群馬では人気のお店です。最近はドレッシング工場を立ち上げ「ドレッシングの自動販売機」を始めるなど多彩な事業を展開する事業者ですが、人を大切にする方で、ドレッシング工場では障害者の方も働かれています。

当法人のルオーゴ(就労継続B)の近い将来の目標は「カフェ」を展開すること。その時には、私たち素人には足りないノウハウを教えていただく心強い味方が増えました。

故小山理事長との別れは悲しいですが、眞保理事長、監事の池田氏、評議員の宮崎氏はじめ他の役員や職員の方々に守られていることに感謝し共に働いていこうと思います。

～「Nothing about us without us」の気持ちを忘れずに～



編集後記

令和2年はコロナウイルスという未知のウイルスによってこれまでの生活が一変し、不安に感じることも多かったのではないのでしょうか？新しい生活様式の実践によりマスクをするのが当たり前になっておりますが、時間が経つにつれて変化に慣れてきている自分にも驚かされます。まだ変化に慣れずにいたコロナ禍でも工夫して出来ることをやっていた様子が思い出されると思います。今年は延期になっていたオリンピック・パラリンピックなど各種イベントも再開する方向で調整されていることが多いようです。少しずつ以前の生活に戻っていく途中ではありますが、昨年できなかったことが多い分、楽しみが多い一年にしていきたいですね。

最後になりますが、前小山理事長がご逝去されたことなどから毎年1月に発行しているNewsプライムの発行ですが、発行時期がズれてしまいました。次回からは毎年7月に発行するように変更させて頂きますことをお知らせいたします。(N)



..日替わりお弁当..

注文・配達承ります

すまいる京目弁当事業部

注文専用ダイヤル

027(350)1555

/発行
社会福祉法人 プライム
〒370-0011
群馬県高崎市京目町 201-2
障害福祉サービス事業所
すまいる京目内
TEL 027-381-6171
FAX 027-381-6172
ホームページ
<http://prime.or.jp/>
E-mail
smile-kyome@major.ocn.ne.jp

発行責任者 山本美紀子
発行日 令和3年7月1日



(目) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 フライム

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
老人福祉事業収入	40,000	40,000	0	
就労支援事業収入	26,573,000	25,310,425	1,262,575	
障害福祉サービス等事業収入	137,084,000	132,046,327	5,037,673	
経常経費寄附金収入	1,080,000	1,053,600	26,400	
受取利息配当金収入	7,000	144	6,856	
その他の収入	1,265,000	1,177,362	87,638	
事業活動収入計(1)	166,049,000	159,627,858	6,421,142	
人件費支出	98,011,000	94,497,174	3,513,826	
事業費支出	11,078,000	10,195,736	882,264	
事務費支出	14,974,000	13,151,980	1,822,020	
就労支援事業支出	28,293,000	26,821,576	1,471,424	
支払利息支出	770,000	692,925	77,075	
その他の支出	90,000	68,900	21,100	
事業活動支出計(2)	183,216,000	145,428,291	7,787,709	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	12,833,000	14,199,567	△1,366,567	
受取利息配当金収入	0	0	0	
施設整備等収入計(4)	5,652,000	5,639,678	12,322	
設備資金借入金元金償還支出	1,350,000	1,340,910	9,090	
固定資産取得支出	110,000	108,864	1,136	
リース・リース・リース債務の返済支出	7,112,000	7,089,452	22,548	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△7,112,000	△7,089,452	△22,548	
長期運営資金借入金収入	5,000,000	5,000,000	0	
その他の活動収入計(7)	5,000,000	5,000,000	0	
長期運営資金借入金元金償還支出	924,000	924,000	0	
その他の活動支出計(8)	924,000	924,000	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,076,000	4,076,000	0	
準備費支出(10)	1,080,000	1,080,000	0	
準備費支出計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	8,717,000	11,186,115	△2,469,115	
前期末支払資金残高(12)	27,770,726	27,770,726	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	36,487,726	38,956,841	△2,469,115	

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 フライム

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
就労支援事業収益	25,310,425	26,333,259	△1,022,834
障害福祉サービス等事業収益	132,046,327	120,909,288	11,137,039
経常経費寄附金収益	1,053,600	74,700	978,900
サービス活動収益計(1)	158,410,352	147,317,247	11,093,105
人件費	94,781,241	89,696,657	5,084,584
事業費	10,156,194	10,288,362	△132,168
事務費	13,151,522	14,321,109	△1,169,587
就労支援事業費用	27,621,313	28,079,823	△458,510
減価償却費	4,070,348	4,507,674	△437,326
国庫補助金等特別積立金取崩額	△74,098	△94,967	20,869
サービス活動費用計(2)	149,706,520	146,798,658	2,907,862
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	8,703,832	518,589	8,185,243
受取利息配当金収益	144	142	2
その他のサービス活動外収益	1,177,362	470,836	706,526
サービス活動外収益計(4)	1,177,506	470,978	706,528
支払利息	692,925	702,561	△9,636
その他のサービス活動外費用	68,900	102,750	△33,850
サービス活動外費用計(5)	761,825	805,301	△43,476
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	415,681	△334,323	750,004
経常増減差額(7)=(3)+(6)	9,119,513	184,266	8,935,247
その他の特別収益	0	244,944	△244,944
特別収益計(8)	0	244,944	△244,944
固定資産売却損・処分損	0	2	△2
特別費用計(9)	0	2	△2
特別増減の部	0	2	△2
当期活動増減差額(11)=(7)+(9)	9,119,513	244,942	△214,942
繰前繰越活動増減差額(12)	45,948,584	429,208	8,690,305
繰当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	55,068,097	45,519,376	429,208
繰越基本金取崩額(14)	0	45,948,584	9,119,513
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	55,068,097	45,948,584	9,119,513

第三号第一様式

1 資産の部	1 流動資産	2 固定資産	3 負債の部	3 流動負債	4 固定負債
現金預金	22,887,945	16,514,961	事業未払金	9,415,154	8,976,589
事業未収金	23,832,003	18,245,492	その他の未払金	672,160	469,713
未収金	2,672,533	2,553,313	1年以内返済予定設備資金借入金	5,671,212	5,670,276
未収補助金	14,840	0	1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,008,000	0
商品・製品	28,406	29,274	1年以内返済予定リース債務	9,072	108,864
原材料	178,750	325,000	職員預り金	613,766	877,517
前払金	0	368,279	前受収益	358,600	338,600
前払費用	609,200	375,000	賞与引当金	1,934,633	1,650,566
仮払金	0	376,100			
固定資産	85,157,390	88,684,064	固定負債	45,937,210	48,518,896
基本財産	81,361,206	84,220,343	設備資金借入金	42,589,210	48,229,824
土地	15,802,667	15,802,667	長期運営資金借入金	3,068,000	0
建物	65,558,539	68,417,676	リース債務	0	9,072
その他の固定資産	3,796,184	4,463,721	敷金・保証金等預り金	280,000	280,000
建物	51,296	235,110	負債の部合計	65,619,807	66,611,021
構築物	1,275,829	1,615,989			
車輻運搬具	941,197	597,123	純資産の部		
器具及び備品	1,198,650	1,585,453	基本金	14,326,115	14,326,115
権利	77,800	77,800	第1号基本金	13,405,767	13,405,767
無形リース資産	9,072	117,936	第3号基本金	920,348	920,348
差入保証金	60,000	60,000	国庫補助金等特別積立金	367,048	585,763
その他の固定資産	182,340	174,310	その他の積立金	0	0
			次期繰越活動増減差額	55,068,097	45,948,584
			(うち当期活動増減差額)	9,119,513	429,208
			純資産の部合計	69,761,260	60,860,462
資産の部合計	135,381,067	127,471,483	負債及び純資産の部合計	135,381,067	127,471,483

法人単位貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

社会福祉法人名 社会福祉法人 プライム

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	50,223,677	38,787,419	11,436,258	流動負債	19,682,597	18,092,125	1,590,472
現金預金	22,887,945	16,514,961	6,372,984	事業未払金	9,415,154	8,976,589	438,565
事業未収金	23,832,003	18,245,492	5,586,511	その他の未払金	672,160	469,713	202,447
未収金	2,672,533	2,553,313	119,220	1年以内返済予定設備資金借入金	5,671,212	5,670,276	936
未収補助金	14,840	0	14,840	1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,008,000	0	1,008,000
商品・製品	28,406	29,274	△868	1年以内返済予定リース債務	9,072	108,864	△99,792
原材料	178,750	325,000	△146,250	職員預り金	613,766	877,517	△263,751
前払金	0	368,279	△368,279	前受収益	358,600	338,600	20,000
前払費用	609,200	375,000	234,200	賞与引当金	1,934,633	1,650,566	284,067
仮払金	0	376,100	△376,100				
固定資産	85,157,390	88,684,064	△3,526,674	固定負債	45,937,210	48,518,896	△2,581,686
基本財産	81,361,206	84,220,343	△2,859,137	設備資金借入金	42,589,210	48,229,824	△5,640,614
土地	15,802,667	15,802,667	0	長期運営資金借入金	3,068,000	0	3,068,000
建物	65,558,539	68,417,676	△2,859,137	リース債務	0	9,072	△9,072
その他の固定資産	3,796,184	4,463,721	△667,537	敷金・保証金等預り金	280,000	280,000	0
建物	51,296	235,110	△183,814	負債の部合計	65,619,807	66,611,021	△991,214
構築物	1,275,829	1,615,989	△340,160				
車輻運搬具	941,197	597,123	344,074	純資産の部			
器具及び備品	1,198,650	1,585,453	△386,803	基本金	14,326,115	14,326,115	0
権利	77,800	77,800	0	第1号基本金	13,405,767	13,405,767	0
無形リース資産	9,072	117,936	△108,864	第3号基本金	920,348	920,348	0
差入保証金	60,000	60,000	0	国庫補助金等特別積立金	367,048	585,763	△218,715
その他の固定資産	182,340	174,310	8,030	その他の積立金	0	0	0
				次期繰越活動増減差額	55,068,097	45,948,584	9,119,513
				(うち当期活動増減差額)	9,119,513	429,208	8,690,305
				純資産の部合計	69,761,260	60,860,462	8,900,798
資産の部合計	135,381,067	127,471,483	7,909,584	負債及び純資産の部合計	135,381,067	127,471,483	7,909,584